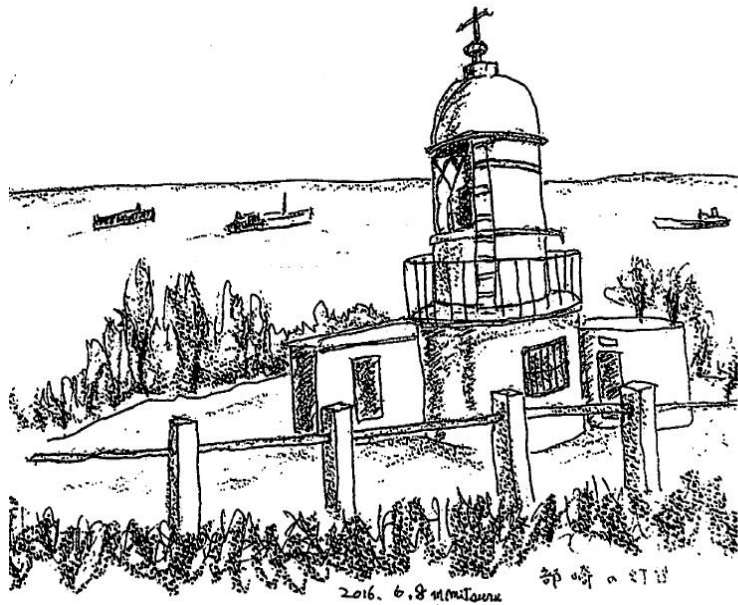


週報2022年8月7日



2022年教会標語聖句

起きよ。光を放て。あなたの光が来て、
主の栄光があなたの上に輝いているからだ。

イザヤ書60章1節

シオン教会信仰指標～人生が変わる！御言葉の光に照らされて～

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2022年8月7日

ピアノ：赤松姉 オルガン：力丸勝子師

司会：大熊姉 献身の祈り：利光姉 メッセージ：山崎師

開会の祈り		司会者
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和	
賛美	新聖歌 338「山行くも海行くも」	
祈禱	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！ *	
献身の祈り		利光 姉
賛美	新聖歌 269「歌えうれしく」	
賛美	コーラス 34「大いなる方に」	
聖書朗読	列王記 第一 19章 8-16 節	
説教	「油注ぎ」	山崎 師
聖餐式	奉仕者：石田兄・吉田兄・吉武姉・小松姉	
応答の祈り		
頌栄	「主の祈り」	
祈禱		山崎 師

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈り合っていますか

説教要約

列王記 第一 19章 8-16節

「油注ぎ」

①情熱の根幹

この箇所は一見、自分の命を狙うイゼベルを恐れたエリヤが彼女から逃げ出して荒野へ向かっているように見えます。しかし、もう少し引いて見る時に、かつて出エジプトを果たしたイスラエルの民の旅路を逆行する神の人エリヤの姿が見えてきます。しかし大切な事は、それにもかかわらず、主はエリヤが新しく立ち上がる為に食事を与えます。そして40日40夜歩いた後、ホレブ山（※シナイ山モーセが律法を授かる場所）で神に出会います。第一番目のポイントは私達はどのように生きてても神の導きの中です。私達は神の導きに従えず逃げ出す事もあります。かつての情熱が尽きるような時があっても、又神の情熱を知る道筋の中です。つまり試練とは永遠の救い、変わらない愛と慈しみ、主の情熱を知る時です。

②油注ぎ

今日のテーマは主の油注ぎとは何か？という事です。旧約聖書を読む時に、王が油注ぎを受け任職につきます。油注ぎを受けた時、激しく主の霊が下ったと記されています（Iサム16：13）今日の箇所の鍵句は神のエリヤに対する言葉「エリヤよここで何をしているのか」です。今日の箇所を要約すると“神の言葉（出会い）によって本当の自分を取り戻すエリヤ”です。人の計画に勝る神の慈しみによって、彼は心と体と魂が回復していきます。そして彼は細き御声を聞く事が出来たのです。こ

の箇所は彼の中心が“自分から神”へと変化する事が見て取れます。エリヤが受けた神からの命令は次世代の人々に油を注ぐことです。結論として“油注ぎとは神の心を次世代に渡す”事です。神の心とは変わらない愛です。聖書の大きなテーマは人の命を保証するのは役割や地位ではなく神です。主は、主の心を伝えていく人を今日も探されています。

③油注がれた人

聖書の中でエリヤが油注がれた人と言う描写はありません。むしろ彼は何処の出身か、家系はどこか一切謎です。そして火の戦車、馬が彼を天に連れて行きました。油注がれた人とはエリシャの事です。彼はエリヤが天に上げられる前、「2倍の霊（油注ぎ）」を求めました。そして彼はその求め通り、2倍の霊を受けます。エリシャはこうして油注がれた者となり、預言者としての活動が始まりました。（II列王記2章9-10）

油注がれた者とはだれか？祭司や王、預言者特別な人が旧約では神の御用を担い、その務めを成しました。しかしその特別と言う自負が仇となって聖書の登場人物は皆過ちをおかします。エリヤの出来事を通じて学ぶ大切な事は一つです。神の心を知ると言う事です。神の心、即ち愛は人と人の信頼関係を通じて、親から子供、師匠から弟子へと受け継がれて行きます。これが聖書の物語です。

ですから、油注がれた者とはシンプルに神の心を信仰生活を通じて引き継いだ者の事です。その油注がれた者の役割は次の世代にその心を渡す事です。もう一度聖書を通じ、私達の情熱は何処にあるのでしょうか？主の御用の為に、主の霊に渴いて求めてまいりましょう。